

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<19週> マイコプラズマ肺炎 - 定点当たり報告数は増加し、過去4年間の同時期の平均と比較して約2倍となっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<咽頭結膜熱>
定点当たり報告数は増加し、過去10年間の当該週と比較すると、本年第16週からは最大の報告数で推移している



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - 咽頭結膜熱患者から分離されたアデノウイルス(1997～2002年、2003年) / インフルエンザウイルス



速報
P.6-7

重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数 / アデノウイルスによる滲出性扁桃炎の流行 - 兵庫県



海外感染症情報
P.8-9

コレラ - イラク / 重症急性呼吸器症候群(SARS) - 更新情報



感染症の話
P.10

<今週はお休みです>



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(19週)
P.12-18



19週のデータ
P.19-27



発生動向総覧

第19週コメント 5月16日集計分

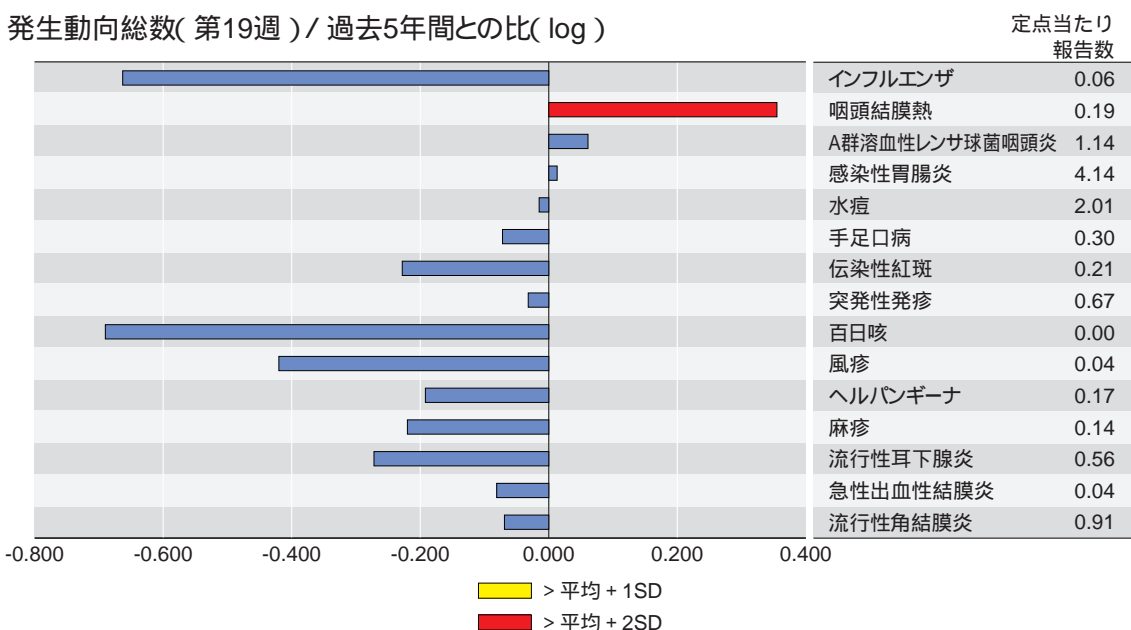
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢9例(推定感染地域: 国内2例、インド3例、インド/ネパール、タイ、タイ/ミャンマー、パキスタン各1例) 腸チフス1例(推定感染地域: インド)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症14例(うち有症者9例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢6例(推定感染地域: 国内3例、インド1例、不明2例) エキノコックス症1例(多包条虫) クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性) ツツガムシ病6例
 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(菌検出検体: 便 . 遺伝子型: *vanA*)
 急性ウイルス性肝炎18例 A型15例(推定感染地域: 国内14例 [福岡県での集団発生事例を含む]、不明1例)
 B型2例(推定感染経路: 性的接触1例、不明1例)
 E型1例(推定感染地域: 国内)
 後天性免疫不全症候群8例(AIDS 1例、無症候7例)
 推定感染経路: 性的接触6例(異性間2例、同性間3例、異性間/同性間1例) 静注薬物使用1例、不明1例
 推定感染地域: 国内6例、不明2例
 梅毒3例(無症候性3例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、引き続き過去5年間の同時期と比較してかなり多く、過去10年間との比較でも最高の値となっている。都道府県別では大分県(1.3) 福井県(1.0) 島根県(0.9)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し0.20で、過去4年間の同時期の平均と比較して約2倍となっている。都道府県別では青森県(0.7) 秋田県(0.7)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、依然として過去10年間との比較では2000年に次ぐ高値となっている。都道府県別では富山県(3.1) 山形県(2.8) 宮崎県(2.5)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では富山県(4.7) 新潟県(4.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では宮崎県(2.3) 山口県(2.0)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は微減し、都道府県別では北海道(0.7) 群馬県(0.6)が多い。風疹の定点当たり報告数は微増したが、流行の見られている岡山県(0.7)では3週連続して減少が見られている。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増し、都道府県別では鳥取県(0.8) 熊本県(0.8) 山口県(0.7)が多い。麻疹(成人麻疹を除く)は微増し、都道府県別では福島県(0.9) 栃木県(0.9) 鹿児島県(0.7)が依然として多い。成人麻疹の定点当たり報告数は増加し0.06で、都道府県別では静岡県(0.7) 群馬県(0.5) いずれも集団発生が影響が多い。

発生動向総数(第19週) / 過去5年間との比(log)

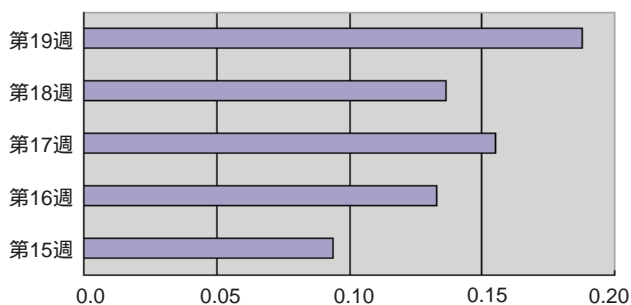


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

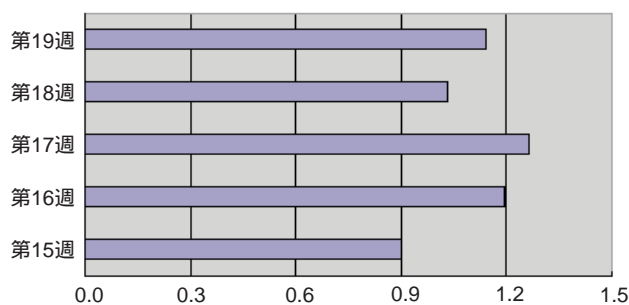
最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は前週に比べて増加している。伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少している。手足口病については大きな変化はない。

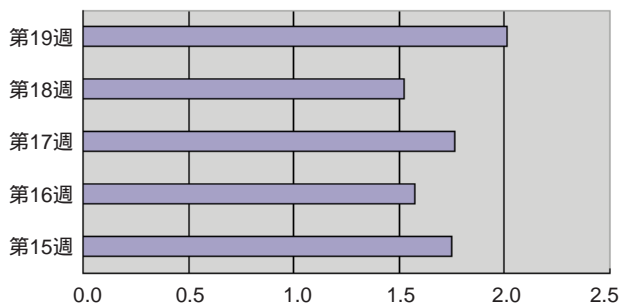
咽頭結膜熱



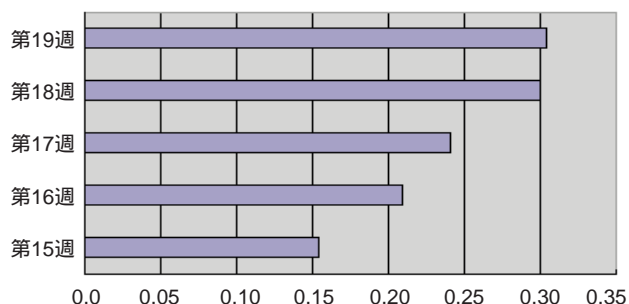
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



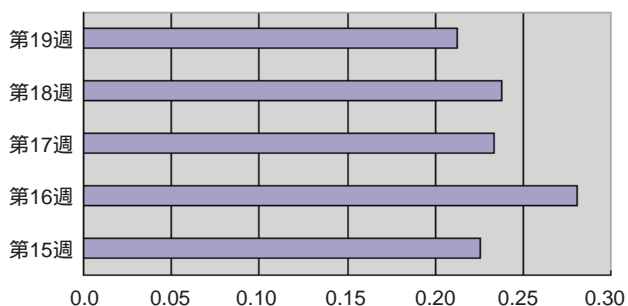
水痘



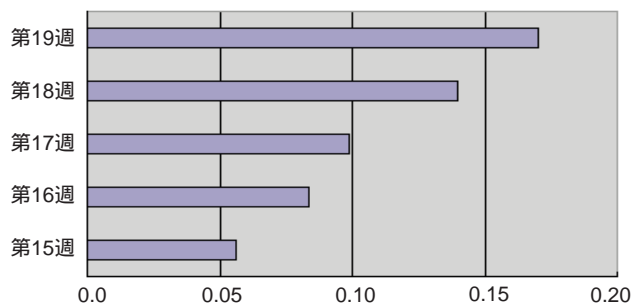
手足口病



伝染性紅斑



ヘルパンギーナ



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年より多い状態で推移している。過去10年間の当該週と比較すると、本年第16週からは最大の報告数となり、第19週も引き続き高く推移している。大分県、福井県などで報告数が多い。

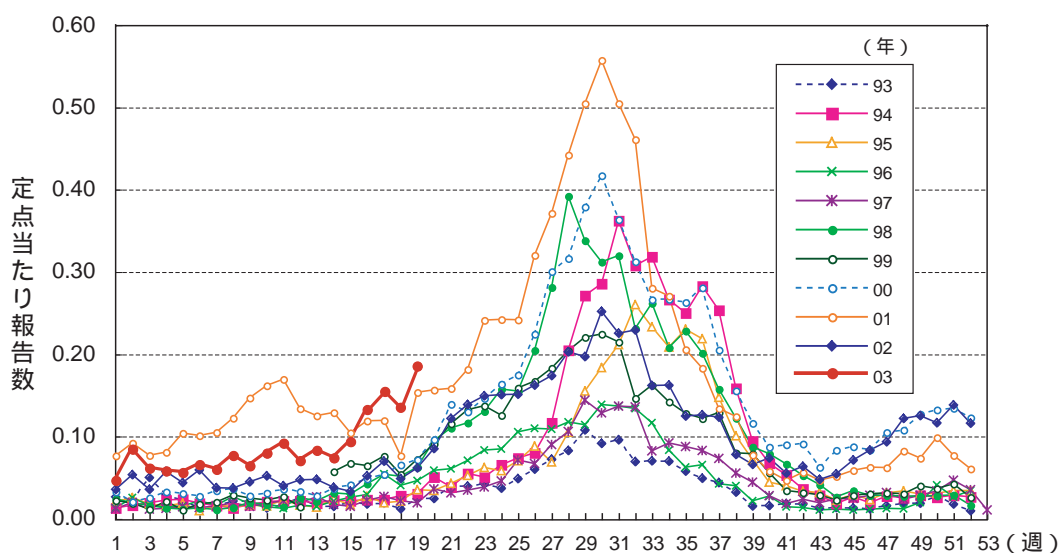
本疾患はアデノウイルスによる感染症で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする。プールでの感染も見られることからプール熱とも呼ばれる。例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを形成する夏季の疾患である。学童年齢の罹患が主であるとされているが、感染症発生動向調査での罹患年齢からは、5歳以下が約6割を占めている。アデノウイルス3型が主な原因ウイルスであるが、1、4、7型も知られている。感染経路は通常飛沫感染であるが、プールでは結膜からの感染や経口的な感染も考えられている。

症状としては、5～7日の潜伏期の後に発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂などの症状があり、それらが3～5日間程度持続する。基本的には良性のウイルス性疾患であり、脱水を防ぐなどの保存的な治療が中心となる。感染予防のためには、患者のタオルなどを共用しないことなどが必要である。発症してから、眼・呼吸器系からは7～14日間、便からは30日間ウイルスが検出されることもあり、注意が必要である。

1994年頃からアデノウイルス7型による咽頭結膜熱の流行がみられているが、同ウイルスによる肺炎などの重症例が報告され、問題となった。近年の報告数は多くはないが、依然として検出がみられているので、引き続き注意が必要である。

本疾患は今後夏にかけて報告数が増加してくると考えられるので、流行に注意することが必要である。プールを介しての流行もあることから、水泳前後のシャワーやプールの水の消毒なども大切である。

図. 過去10年間の咽頭結膜熱の週別定点当たり報告数





病原体情報

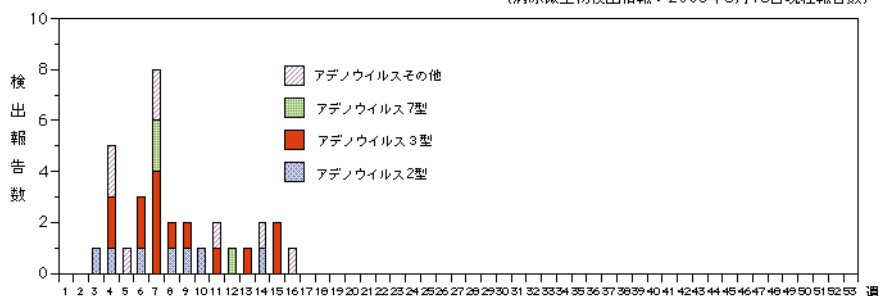
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年5月16日現在報告分)

咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2003年

2003年には33件報告されている。アデノウイルス3型(Ad3)が15件(三重県5、兵庫県4、広島市2、千葉市、新潟県、名古屋市、奈良県各1)、Ad2が7件(兵庫県2、広島市2、三重県、北九州市、熊本県各1)、Ad7が3件(北九州市3)、Adその他が8件(5型4件、1型3件、4型1件)である。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2003年

(病原微生物検出情報: 2003年5月16日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



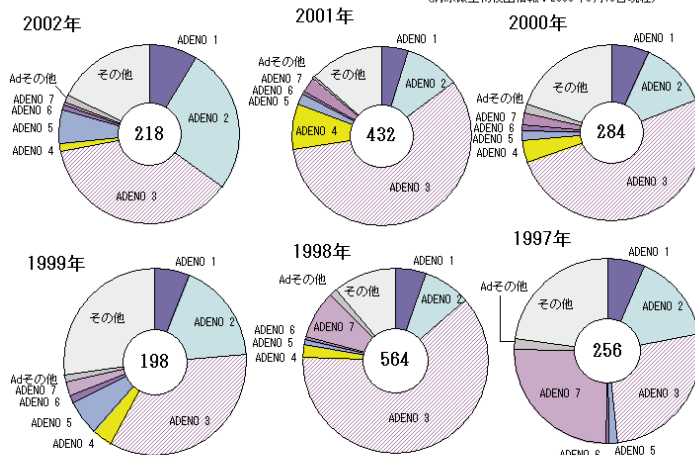
Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 1997～2002年

過去6年間に分離されたウイルスの型別をみると、最も多く分離されたウイルスはいずれの年もAd3であるが、全体に占める割合は年によって大きく異なっている。1997年はAd3(68件)とAd7(64件)が多く、それぞれ全体の1/4を占めた。1998、2000、2001年はAd3が過半数を占めた。Ad7の報告は1998年に47件であったが、1999年以降は年間数件に留まっている。昨年(2002年)咽頭結膜熱患者から分離されたウイルスは計218件で、内訳はAd3が81件、Ad2が57件、Ad1が19件、Ad5が13件などであり、Ad2の占める割合が増加している。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス、1997～2002年

(病原微生物検出情報: 2003年5月16日現在)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザウイルス 2003年第17週(4/21 ~)以降

2002/03シーズン後半に流行の中心となっているB型の分離がなお続いており、最近では第17週に札幌市6、名古屋市1、沖縄県1、第18週に札幌市1が報告されている。



重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数

(平成14年11月1日¹～平成15年5月22日)

国名	累積症例数 ²	WHOによる前回の更新以降の新規症例数 ²	死亡者数	回復者数 ³	「可能性例」の最終報告日	現在の累積症例数報告日
オーストラリア	6	0	0	6	5月12日	5月22日
ブラジル	2	0	0	2	4月10日	4月24日
カナダ	140	0	23	109	5月4日	5月21日
中国	5271	26	300	2445	5月22日	5月22日
香港(中国特別行政区) ⁴	1722	3	258	1247	5月22日	5月22日
マカオ(中国特別行政区)	2	1	0	0	5月21日	5月21日
台湾(中国)	483	65	60	74	5月22日	5月22日
コロンビア	1	0	0	1	5月5日	5月5日
フィンランド	1	0	0	1	5月7日	5月20日
フランス	7	0	0	6	5月9日	5月22日
ドイツ	9	0	0	9	5月9日	5月21日
インド	3	0	0	3	5月13日	5月14日
インドネシア	2	0	0	2	4月23日	5月22日
イタリア	9	0	0	9	4月29日	5月22日
クウェート	1	0	0	1	4月9日	4月20日
マレーシア	8	0	2	5	5月20日	5月21日
モンゴル	9	0	0	8	5月6日	5月19日
ニュージーランド	1	0	0	1	4月30日	5月22日
フィリピン	12	0	2	10	5月15日	5月22日
アイルランド	1	0	0	1	3月21日	5月19日
韓国	3	0	0	2	5月14日	5月22日
ルーマニア	1	0	0	1	3月27日	4月22日
シンガポール	206	0	29	162	5月18日	5月21日
南アフリカ	1	0	1	0	4月9日	5月3日
スペイン	1	0	0	1	4月2日	5月7日
スウェーデン	3	0	0	3	4月18日	5月13日
スイス	1	0	0	1	3月17日	5月16日
タイ	8	0	2	5	5月13日	5月21日
英国	4	0	0	4	4月29日	5月22日
米国	65	0	0	33	5月17日	5月21日
ベトナム	63	0	5	58	4月14日	5月14日
計	8,046	95	682	4,210		

[注]・累積症例数は死亡数を含む

・重症急性呼吸器症候群(SARS)は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。従って、以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

- 1 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含むために、サーベイランス期間の開始日を平成14年11月1日に変更した。
- 2 「累積症例数」の減少と、「前回と今回のWHOへの新規報告症例数」のあいだの矛盾は、(同期間に別な病因が判明し)取り下げられた症例数があることによって生じている。
- 3 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」したと報告した症例を含む。
- 4 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。

(WHOホームページより)

アデノウイルスによる滲出性扁桃炎の流行 - 兵庫県

兵庫県において、2003年1月14日(検体採取日) ~ 4月15日までの約3カ月間に滲出性扁桃炎患者40名、咽頭結膜熱患者8名およびヘルペス性口内炎患者1名の合計49名中46名(94%)からアデノウイルスが検出された。患者年齢は7カ月 ~ 8歳(平均3.8歳)で、性別は男18名、女28名であり、1市1郡からすべて散発例として報告された。

滲出性扁桃炎患者40名のうち37名(93%)でアデノウイルスが検出され、内訳は3型(24名 : 65%)、2型(6名 : 16%)、1型(3名 : 8%)で、4名(11%)は未同定である。

また、咽頭結膜熱患者8名全員からアデノウイルスが検出され、3型(4名 : 50%)、2型(2名 : 25%)および1型(1名 : 13%)と同定された。1名は型不明で検査継続中である。

これまで、アデノウイルスが検出された患者は咽頭結膜熱患者が多かったが、2003年に入って、結膜炎を伴わない滲出性扁桃炎患者からアデノウイルスが検出された。ウイルス検査の結果から、アデノウイルス3型を中心としたアデノウイルスの流行であることが明らかになった。

3型アデノウイルスの流行は頻繁に発生するが、今回の報告は、(1)集団発生でなく散発例が多い(ただし、一部に同じ保育園、兄弟姉妹のケースも見られる) (2)眼症状のない患者が多い、という特徴をもっており、年齢による診断名の偏りは見られない。なお、本報告をまとめた2003年4月22日現在でも、滲出性扁桃炎患者の発生が継続している。

兵庫県立健康環境科学研究所・感染症部

藤本嗣人 近平雅嗣

岡藤小児科医院

岡藤輝夫 岡藤隆夫

(IASR2003年6月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

コレラ - イラク

WHO/CSR 5月8日

2003年4月28日以降、イラク南部のバスラにある2カ所の病院で、17例の急性水様下痢症患者が報告された。バスラにおける初期検査でコレラが強く疑われ、血清型検査による確認が待たれている。

現地のWHOスタッフは既にサーベイランスシステムを立ち上げた。彼らは現在、他の病院における下痢症例の調査を行い、配備済みの補給物資を用いた流行対策を実施するための流行対策委員会を設置した。

現在の治安状態と、住民への安全な水の供給再開が困難なことから、大規模なコレラの流行が予想される。

WHO/CSR 5月13日 - 更新

クウェートにある公衆衛生研究所は、WHOが先週バスラの3病院の患者から得た4検体でコレラ菌 *Vibrio cholerae* を確認した。

安全な水の欠乏と劣悪な衛生状態のため、水系感染の危険は非常に高まっている。

専門家は、大流行を引き起こしうる赤痢などの他の多くの病原体の拡大に対しても危惧している。上水道の修復中であり、施設の防御のため警備を厳重にした。流行の征圧のため、地域住民の啓発も必要である。

WHOはイラクへの旅行や貿易上の制限を特に勧告していない。流行は安全な水の確保に係っており、上水道の問題を抱えていない周辺国への影響はない。

重症急性呼吸器症候群 (SARS) - 更新情報

WHO/CSR 5月15日 - 更新56

血液の安全性確保に関する新指針

WHOは本日、不活化されない血液製剤の輸血による理論上のSARS伝播可能性に対処するための予防的な方針を発表した。WHOはこの方針が予防的なものであることを強調している。

大規模な集会に関する指針

WHOは本日、大規模な集会の主催者が、SARSの「最近の地域内伝播」が認められた地域から参加する人々を迎える際の提言を発表した。

現時点のSARSに関する知見からは、有症者のみが感染性があり、この疾病を伝播する。感染の伝播には密接な接触が必要である。

WHOは、SARSの「最近の地域内伝播」が認められた地域からの旅行者で、健康な人がマスクを着用することは推奨していない(大規模イベント・集会の指針参照)。

台湾、香港、シンガポール

台湾は本日、26名の新規患者を報告した。死亡者の報告はなかった。これにより、累計で264名の「可能性例」と30名の死亡例となった。

香港特別行政区からは5例の新たな「可能性例」の報告があった。

シンガポールからは新規患者の報告はなかった。

WHO/CSR 5月16日 - 更新57

中国

中国は本日39名の新規「可能性例」と4名の死亡者を報告し、累計で「可能性例」5,191名、死亡者275名になった。

北京では28名の「可能性例」が報告され、6日連続してSARS「可能性例」が50名以下であった。4月末から5月3日までの間に、北京は毎日平均で100名以上の「可能性例」を報告していた。毎日の死亡者数は、4月22日に報告された15名をピークに減少しており、先週の平均は4名であった。北京は本日、1例の死亡者を報告した。

WHOの専門家は患者数の減少を肯定的にとらえている。しかし、北京のSARS患者が減少傾向にあるとの結論を出すことには慎重になっており、誤診が最近の「可能性例」患者数の減少に関与している可能性がある」と警告した。WHO当局者は、より軽症の患者が「疑い例」として除外されていることを危惧している。

軽症の患者も「疑い例」として隔離され始めている。しかし、患者の症状が改善すると、一般病棟に移されており、このため他の患者に感染がおこる可能性がある。また、早すぎる退院もある。「それらの患者が入院しつづける必要はないかも知れないが、依然として感染性が残っている可能性がある」とChin医師は述べた。

本日Lancetに掲載された香港研究所の、75名のSARS患者の臨床症状の推移に関する研究報告によると、アモイガーデンでの一連の患者には、3つの病期が示されている。最もよくみられる3病期のパターンとしては、発病第1週は発熱、筋肉痛などの症状で特徴づけられ、一般的に数日後に症状が改善する。感染性が最大となる第2週には、患者は再発熱、下痢、酸素飽和度低下がみられる。この研究では、患者の20%が、人工換気が必要なARDSとして特徴づけられる第3期に移行している。

保健当局と医師はこの3病期を理解しておく必要がある。院内感染を含むさらなる拡大を防ぐためには、第1週で患者の症状が改善しても、予防措置、特に隔離や感染予防を解除することは危険である。

WHO/CSR 5月17日 - 更新58

河北省への旅行勧告

WHOは河北省への渡航を計画している旅行者に対し、不要不急の渡航を延期する勧告を本日発表した。河北省への渡航による感染リスクの増加と、それによりSARSが外部へ持ち出されるリスクが高まったことによる。

不要不急の渡航延期勧告は、河北省の他に、香港、台北、北京、広東、内モンゴル、山西、天津に出されている。

本日現在、河北省では202名の可能性例と10名の死亡者が報告されている。

シンガポール

シンガポール保健省は本日、5月11～12日にかけて発熱症状を呈した精神衛生研究所の患者と職員がSARSでない」と判断した。入院患者34名と職員20名のうち、一人もSARSの臨床経過を示さなかった。インフルエンザや上気道感染などの他の診断により、SARSの疑いは除外された。患者54名中25名は退院し、7名は軽い発熱が続いている。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

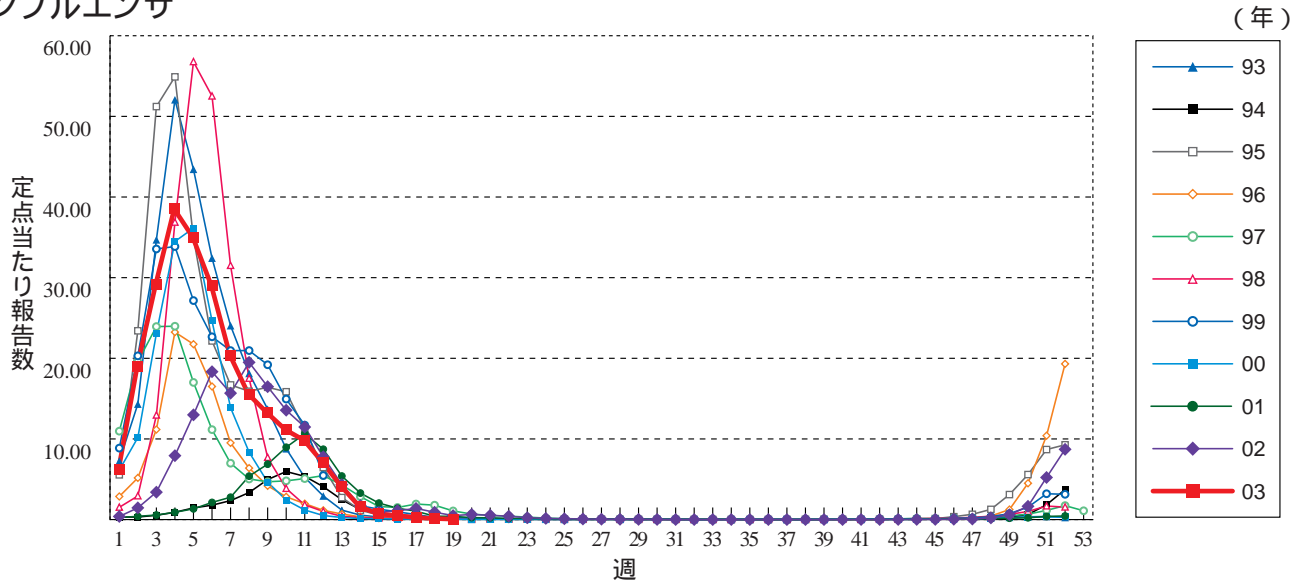
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

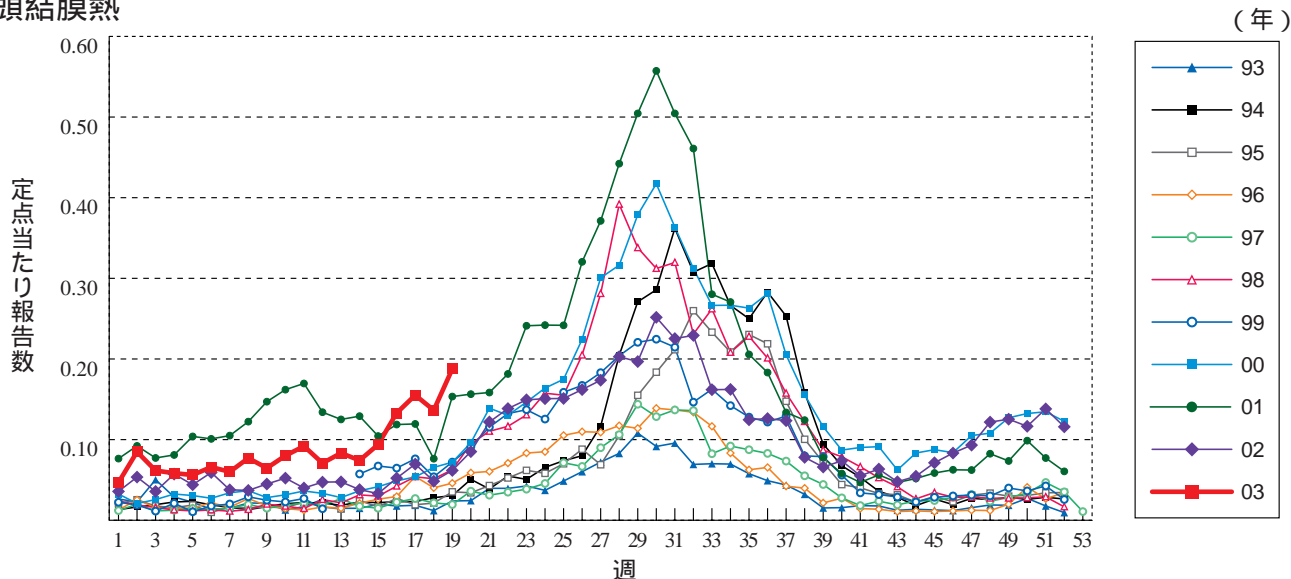


グラフ総覧(19週)

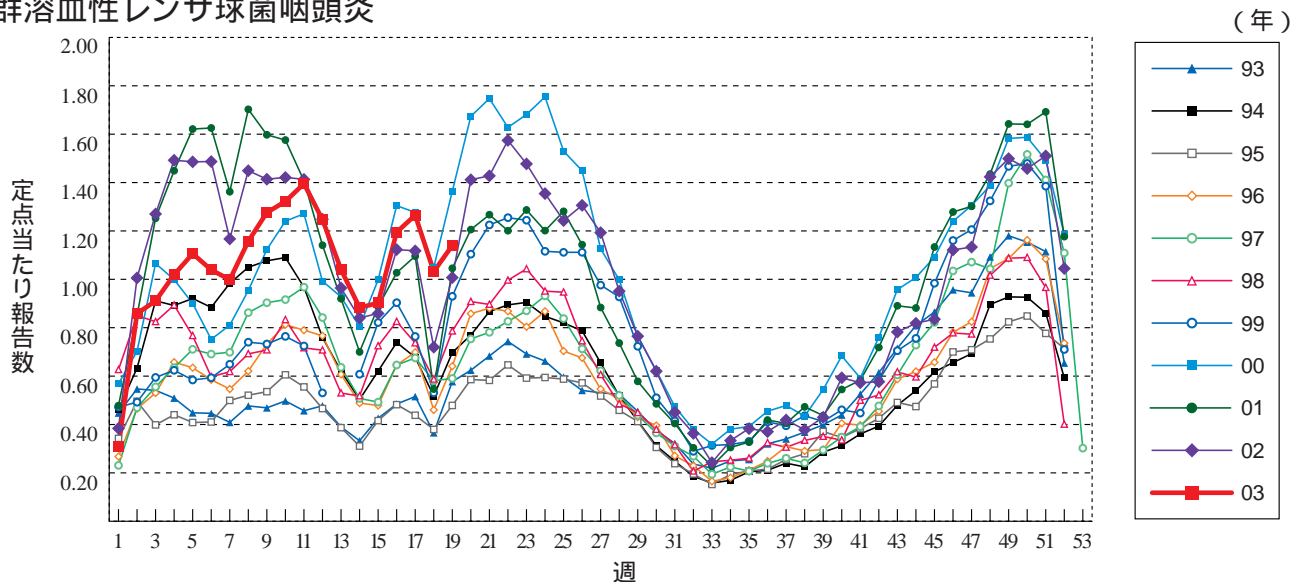
インフルエンザ



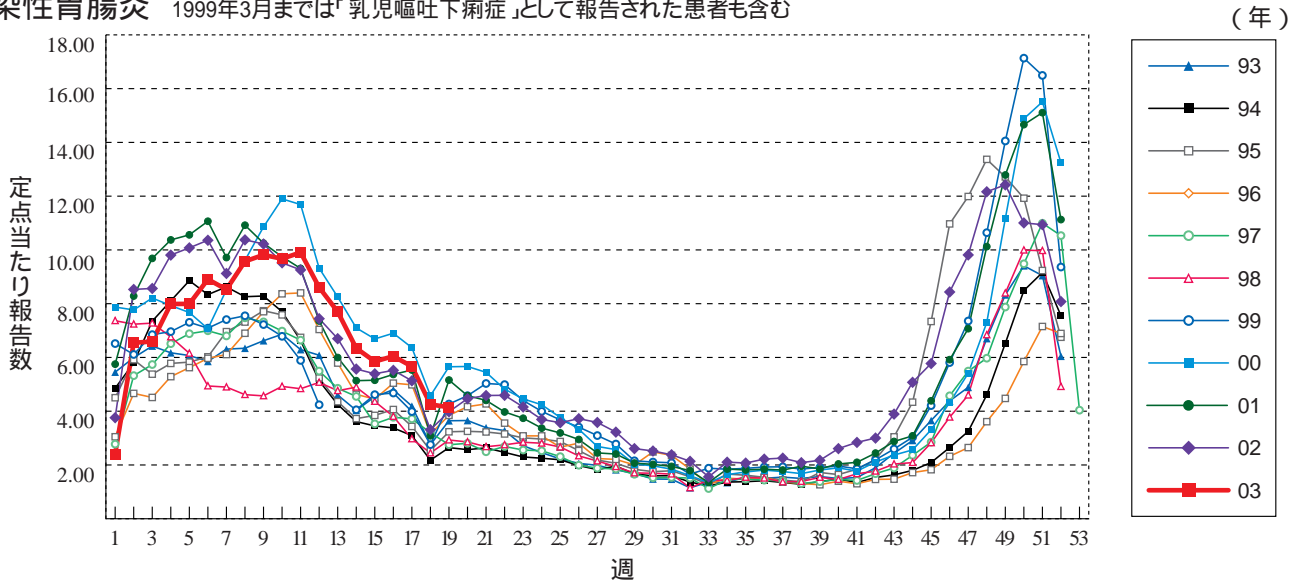
咽頭結膜熱



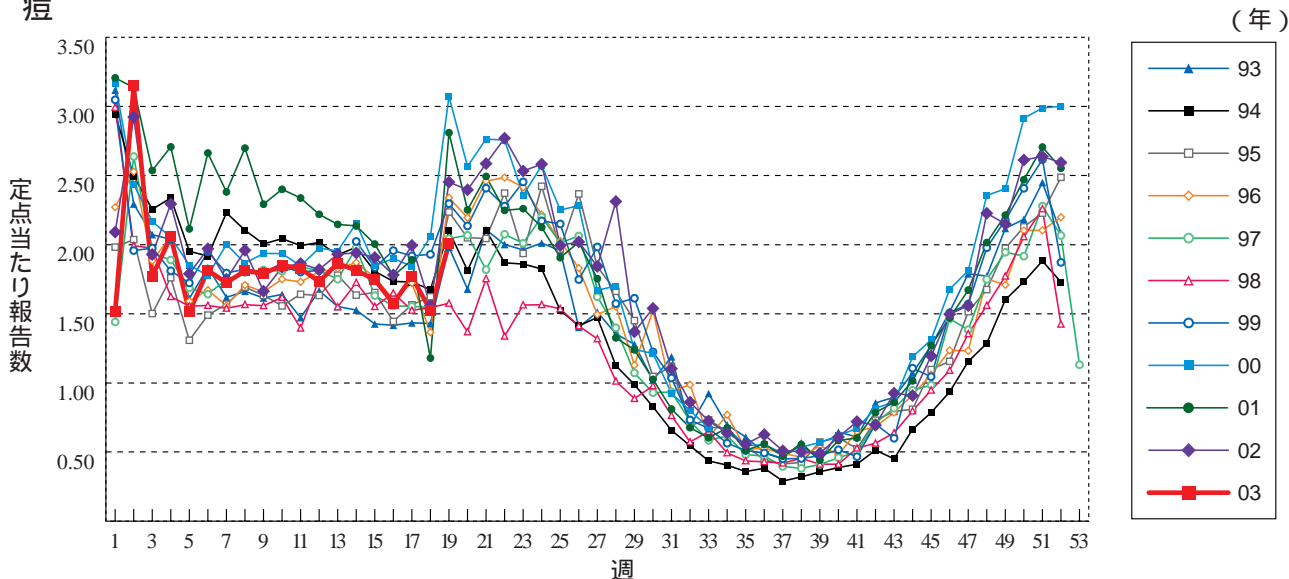
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



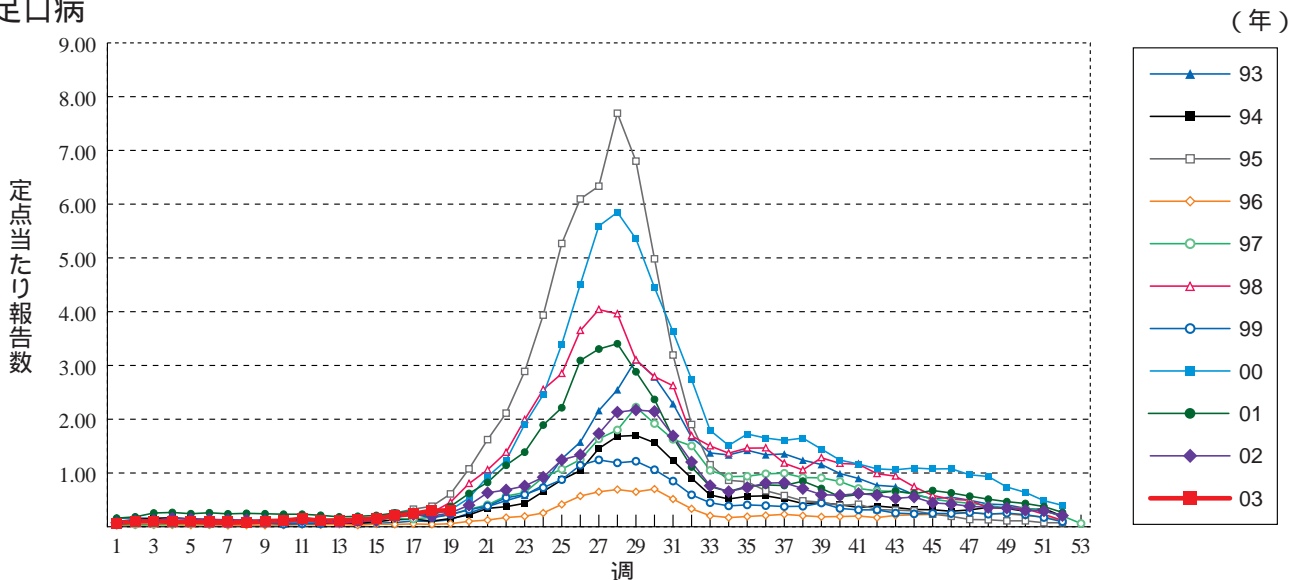
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



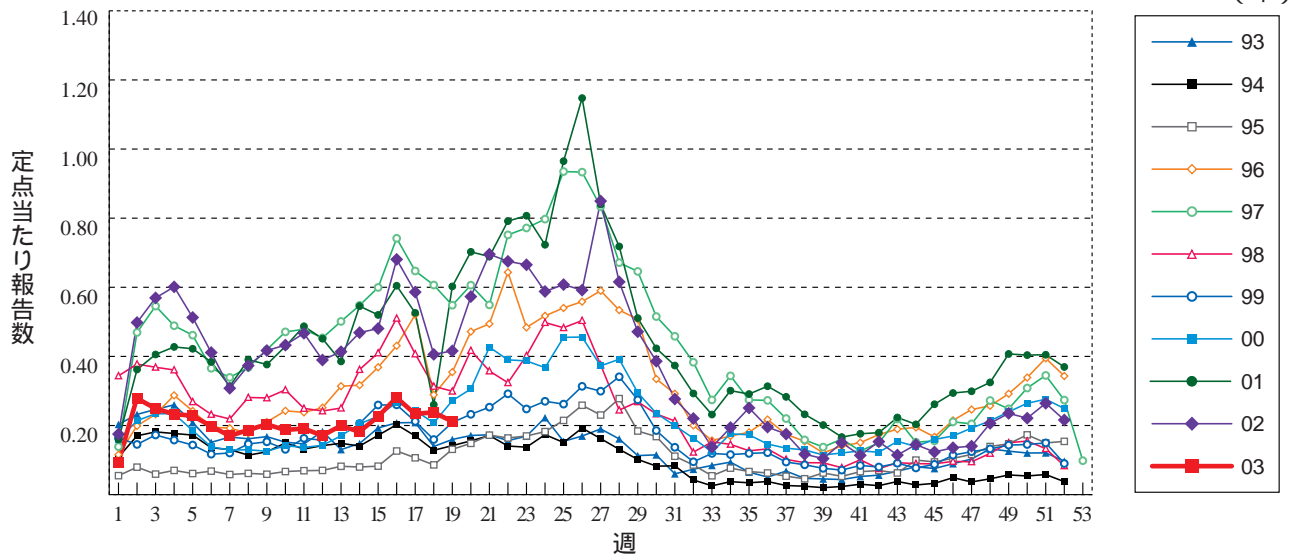
水痘



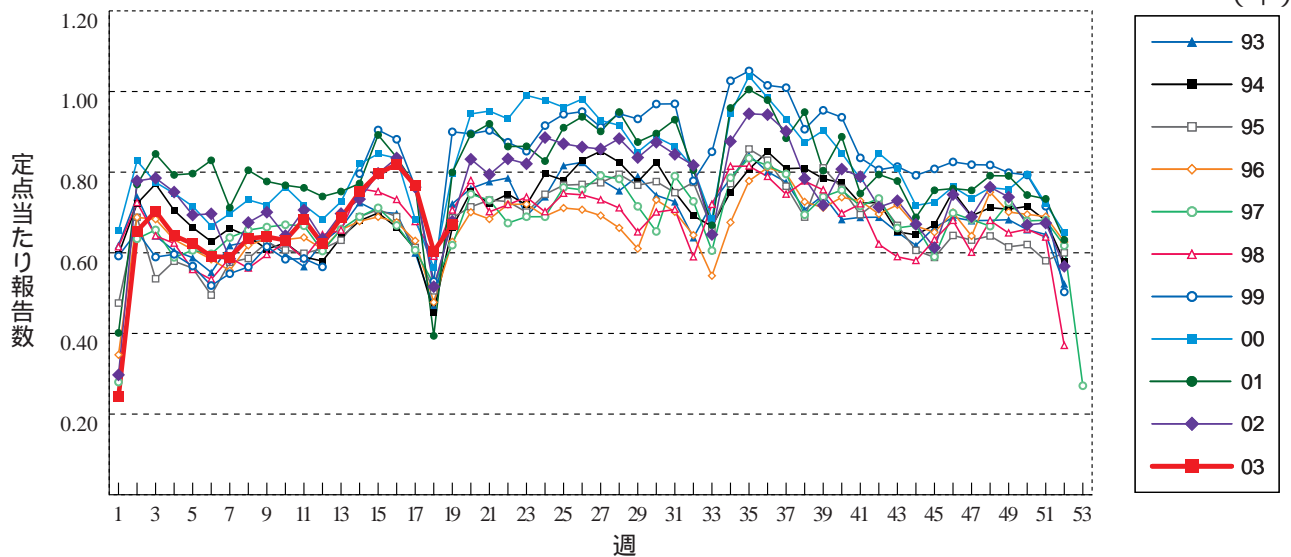
手足口病



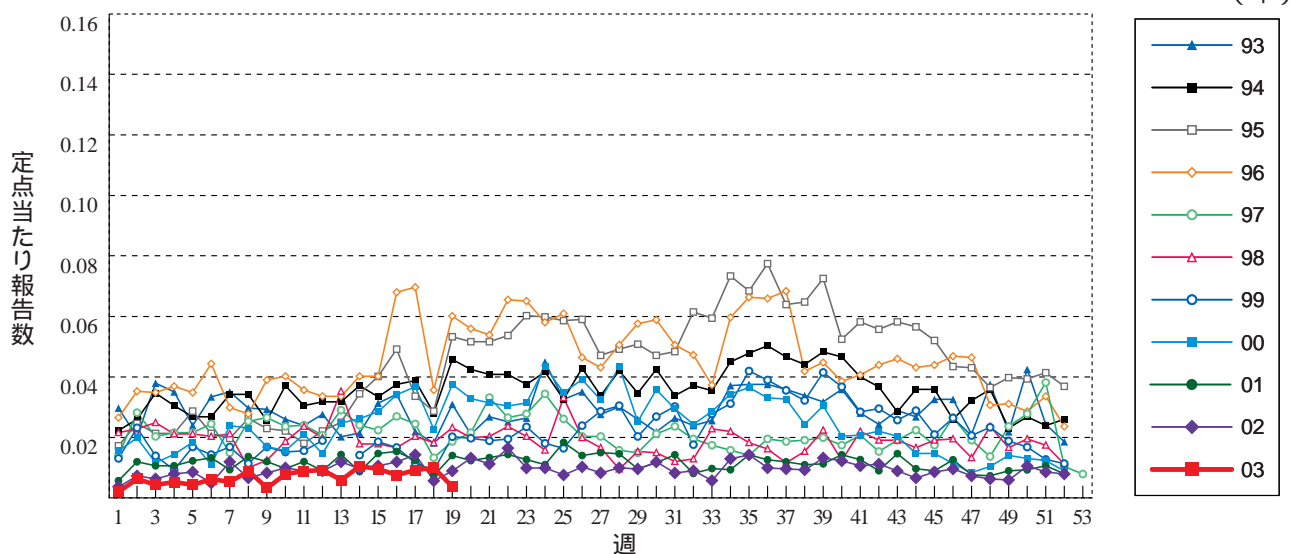
伝染性紅斑



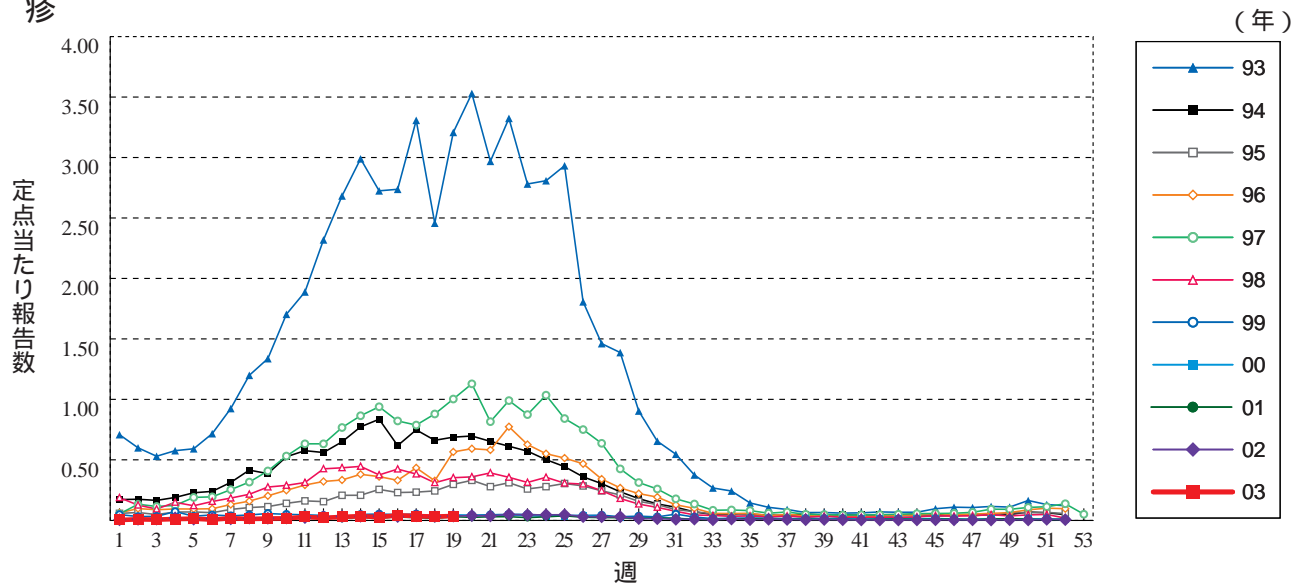
突発性発疹



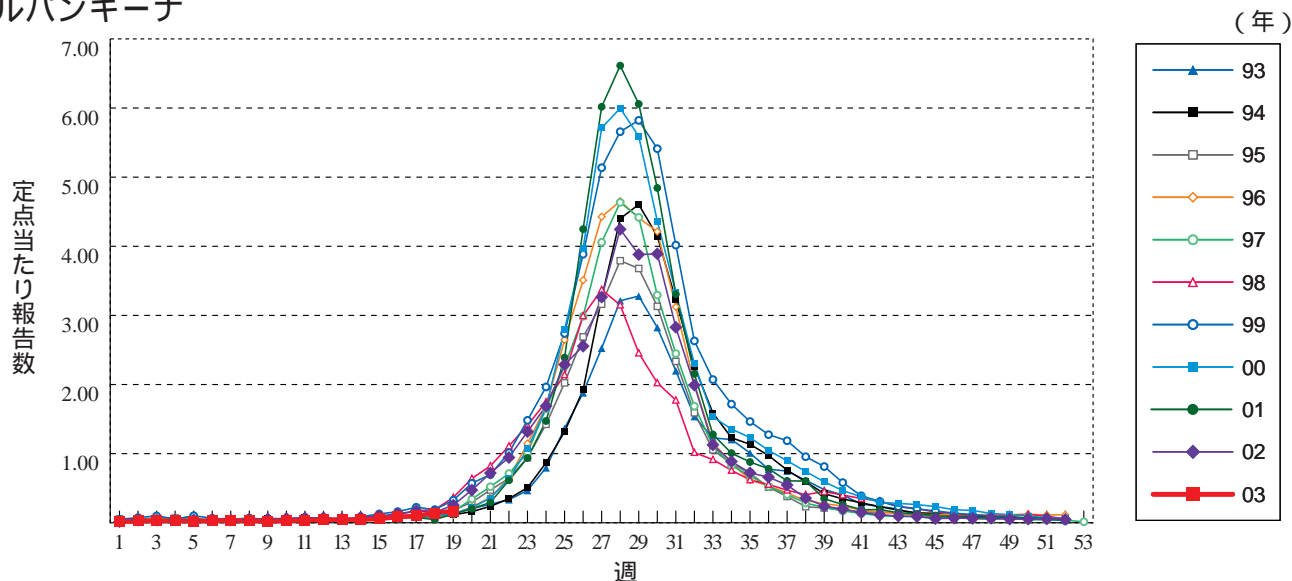
百日咳



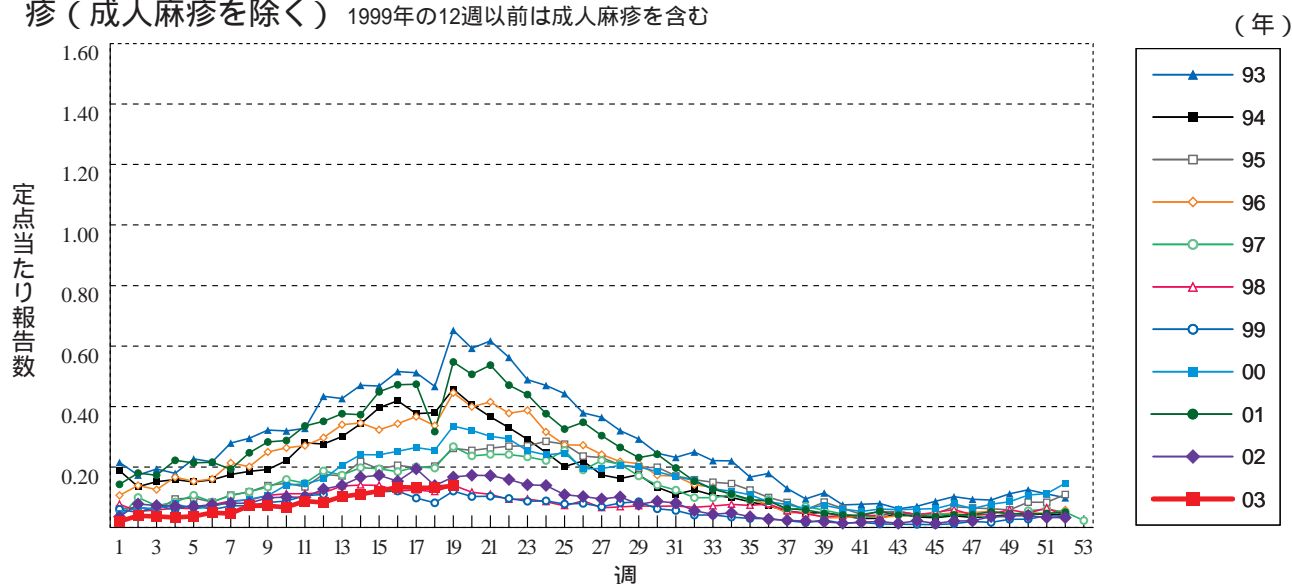
風 疹



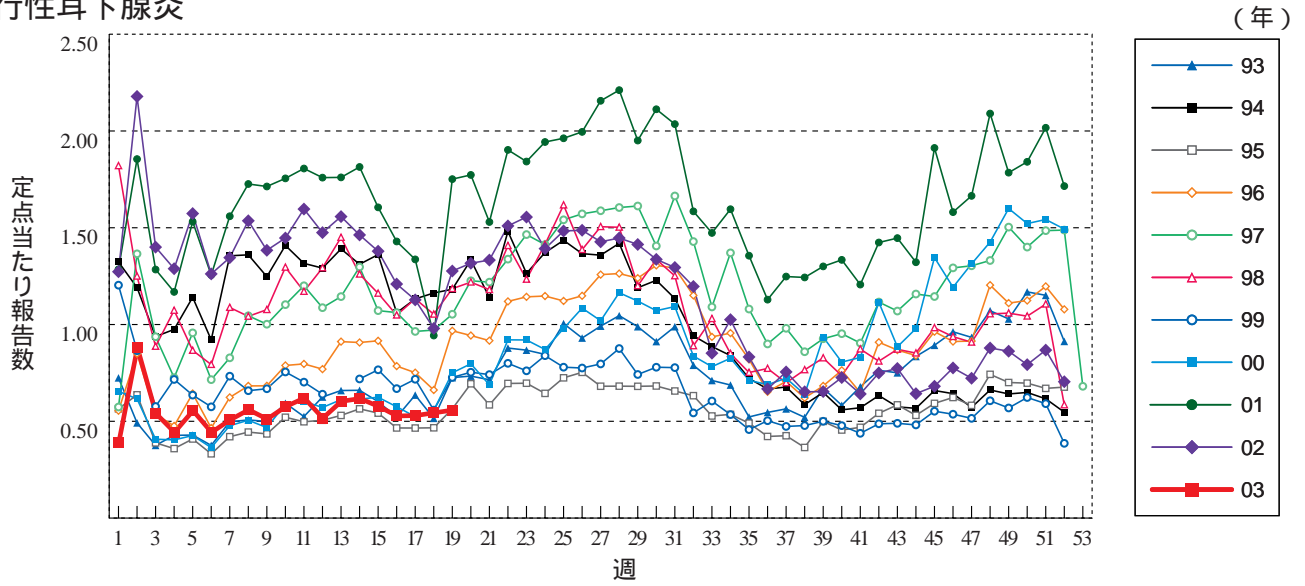
ヘルパンギーナ



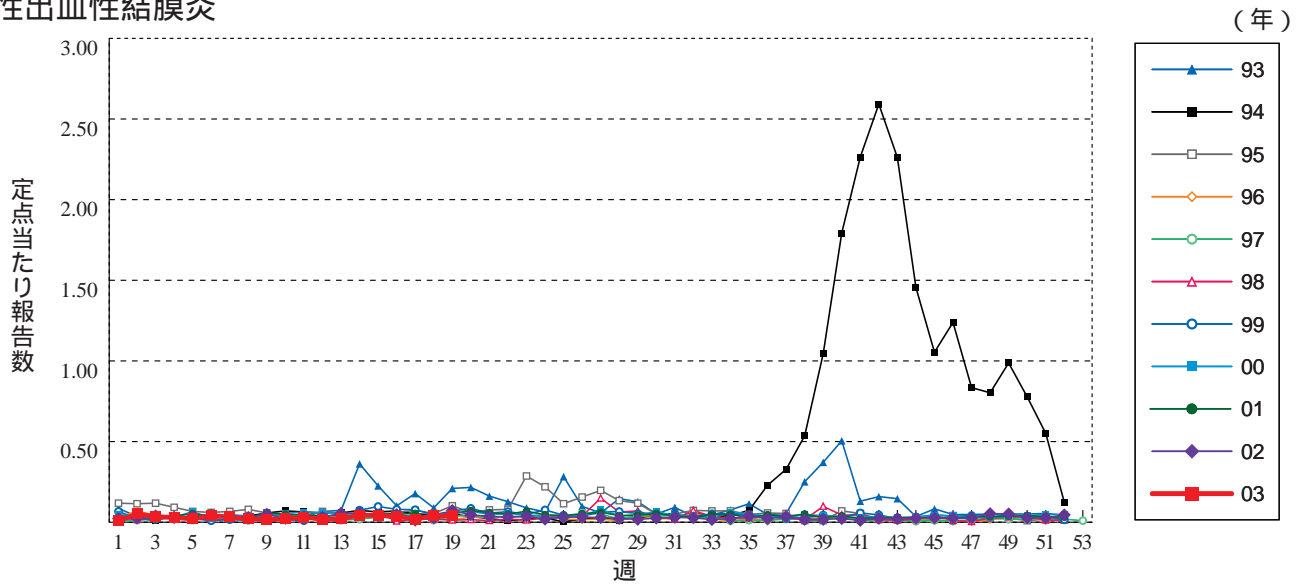
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



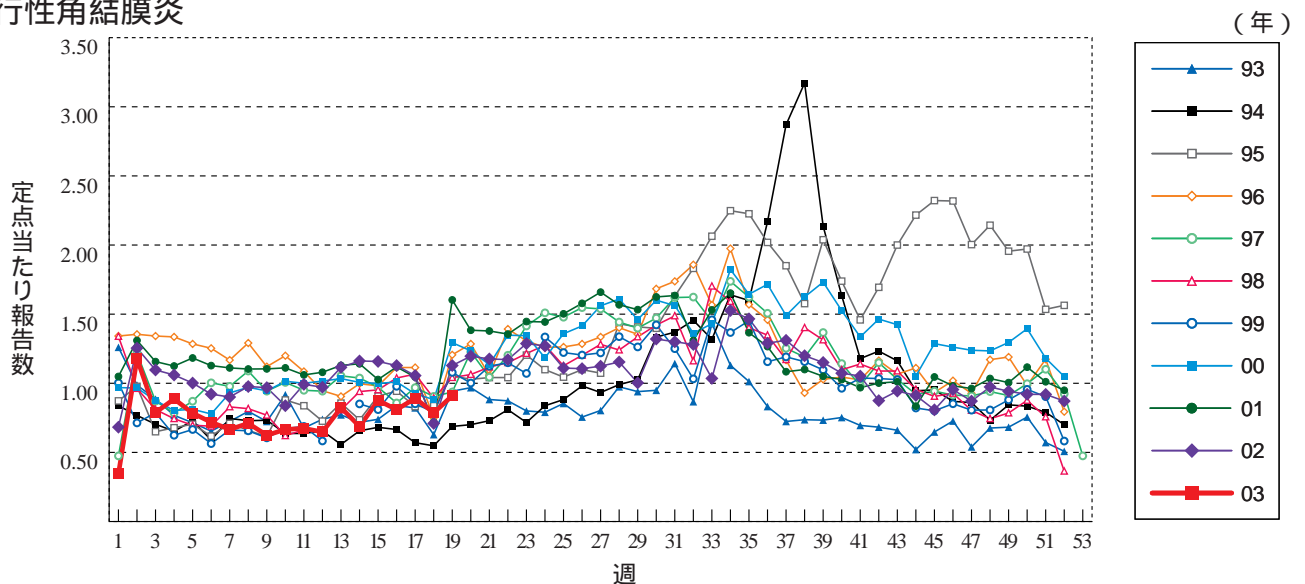
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

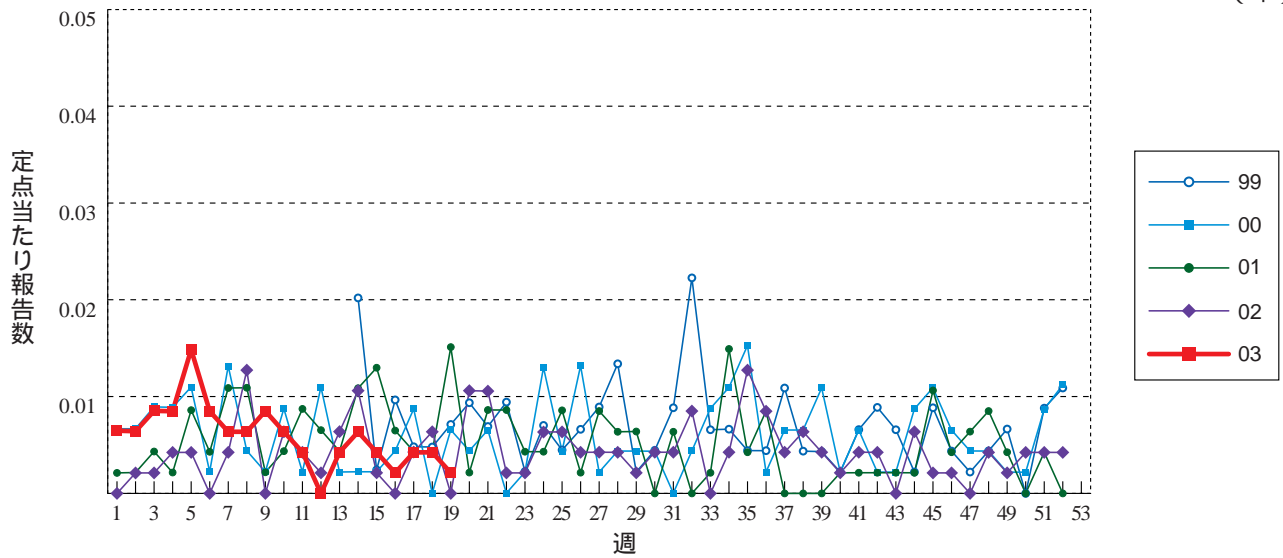


流行性角結膜炎



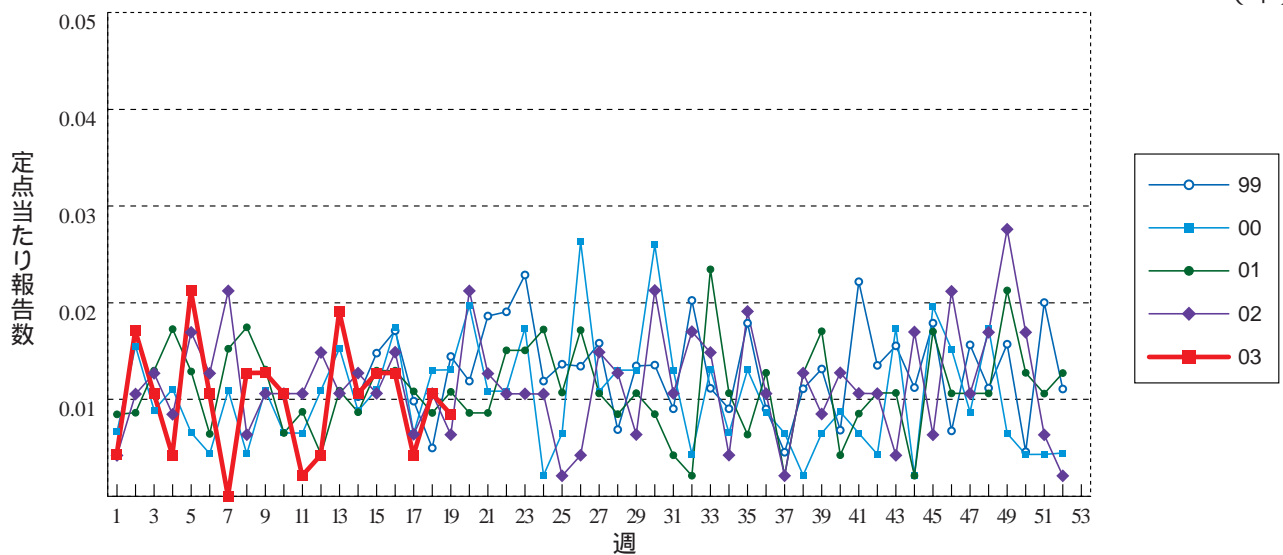
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



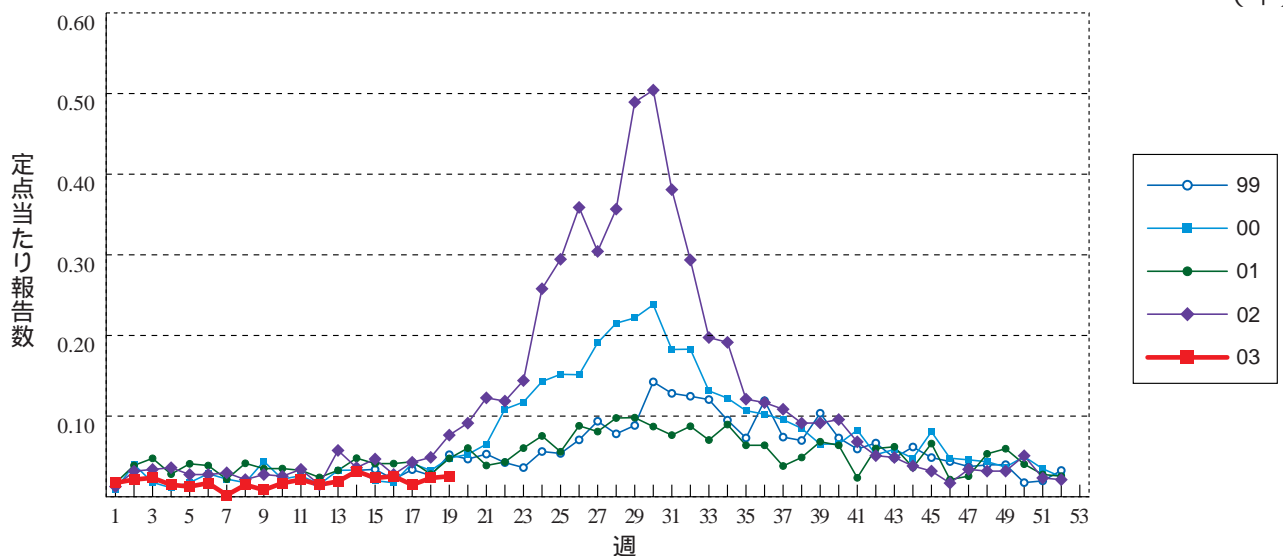
細菌性髄膜炎

(年)



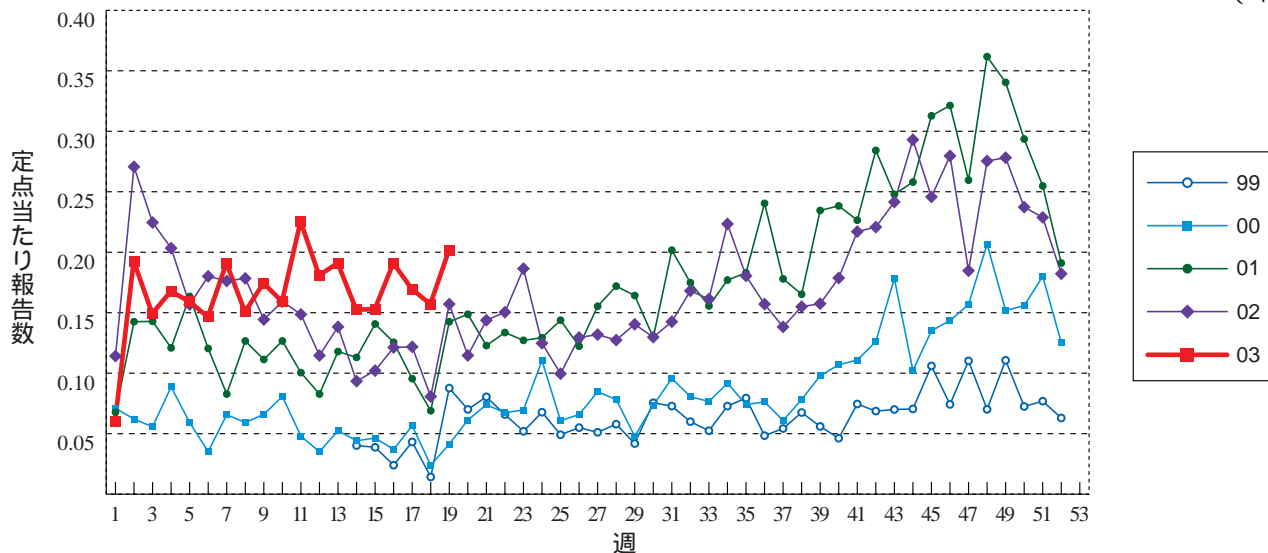
無菌性髄膜炎

(年)



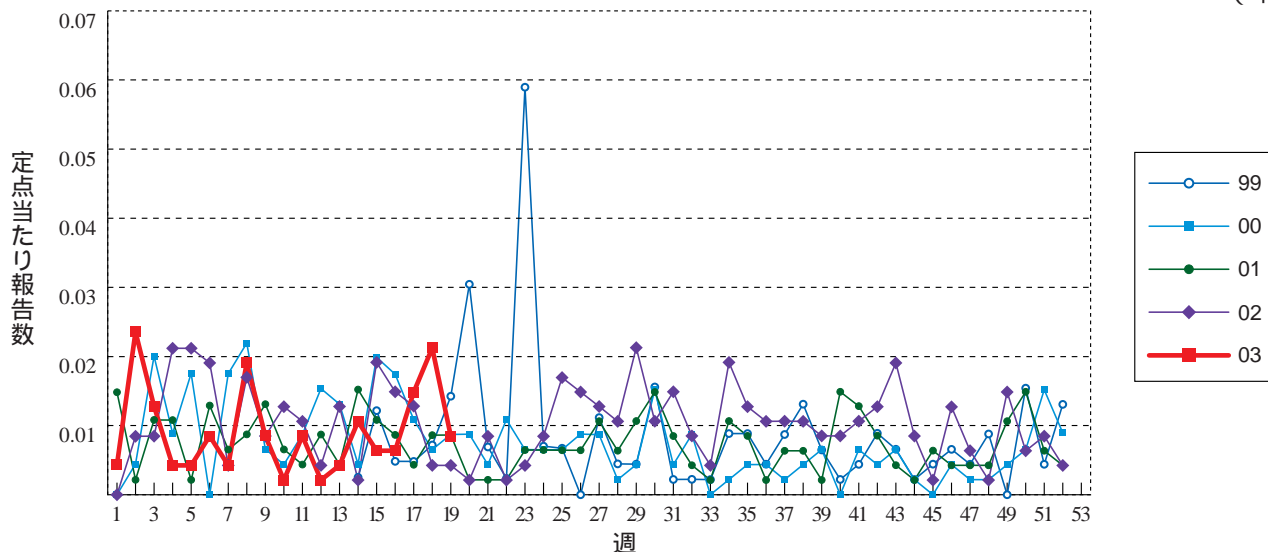
マイコプラズマ肺炎

(年)



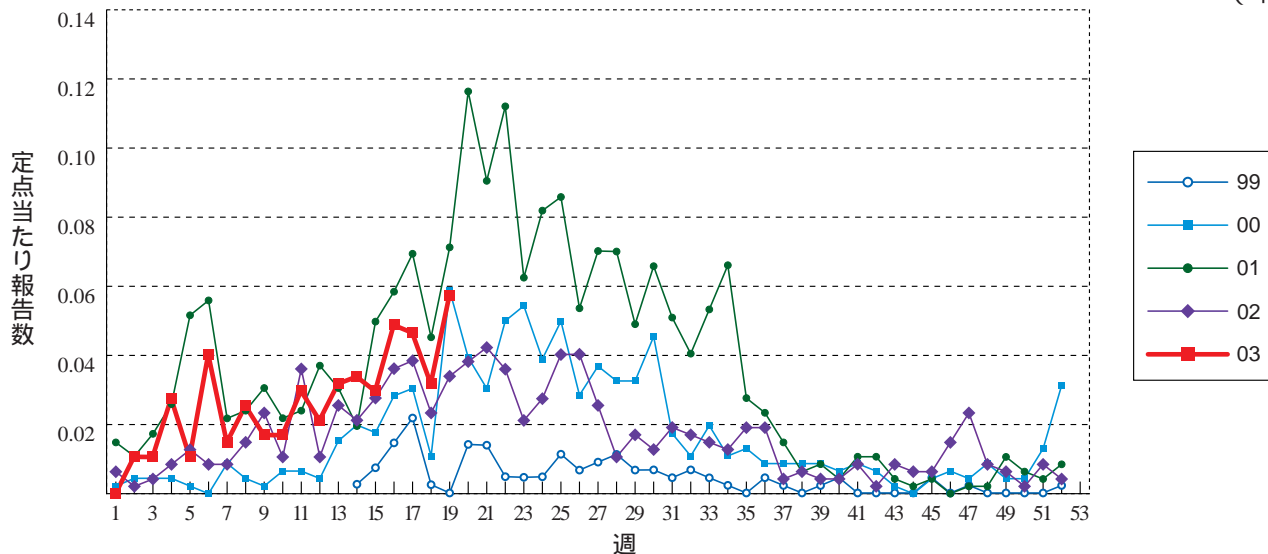
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





19週のデータ

注)表中の報告数は5月16日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年19週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	9	173	1	26	-	12	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	34	-	9	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	14	-	-	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	1	-	1	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	2	-	1	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年19週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	14	182	6	174	1	10	-	-	-	17	-	-	18	340
北海道	-	-	-	-	3	11	-	1	1	9	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
秋田県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	1	3	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
千葉県	-	-	-	-	1	7	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	-	12	1	37	-	-	-	-	-	-	-	-	1	36
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	20	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	10	-	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	1	9	3	28	-	-	-	-	-	3	-	-	1	33
兵庫県	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	2	18
奈良県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
広島県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
山口県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
香川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	1	4	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	9	31
佐賀県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年19週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	1	1	39	-	28	8	304	-	-	-	24	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	5	111	-	-	-	10	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	23	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	2	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	1	2	-	1	-	29	-	-	-	4	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年19週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	10	-	-	-	-	6	46	-	11	-	-	-	-	-	-	3	166
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	28
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	18
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年19週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	22	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	46
北海道	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	7
神奈川県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年19週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年19週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	287	0.06	572	0.19	3476	1.14	12638	4.14	6123	2.01	926	0.30	647	0.21	2044	0.67	11	0.00
北海道	38	0.17	11	0.08	220	1.52	294	2.03	281	1.94	5	0.03	96	0.66	69	0.48	1	0.01
青森県	20	0.31	-	-	38	0.90	118	2.81	89	2.12	18	0.43	4	0.10	23	0.55	-	-
岩手県	8	0.13	-	-	19	0.50	115	3.03	71	1.87	1	0.03	5	0.13	21	0.55	-	-
宮城県	2	0.02	1	0.02	81	1.37	323	5.47	83	1.41	12	0.20	18	0.31	40	0.68	-	-
秋田県	28	0.51	1	0.03	49	1.40	141	4.03	52	1.49	-	-	-	-	19	0.54	-	-
山形県	14	0.29	1	0.03	83	2.77	199	6.63	54	1.80	30	1.00	9	0.30	25	0.83	-	-
福島県	-	-	4	0.08	28	0.58	284	5.92	72	1.50	7	0.15	9	0.19	40	0.83	-	-
茨城県	4	0.03	12	0.16	89	1.20	164	2.22	87	1.18	16	0.22	10	0.14	36	0.49	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	40	0.87	179	3.89	77	1.67	1	0.02	1	0.02	37	0.80	-	-
群馬県	1	0.01	9	0.15	111	1.79	187	3.02	144	2.32	19	0.31	37	0.60	40	0.65	-	-
埼玉県	1	0.00	23	0.14	290	1.80	795	4.94	272	1.69	20	0.12	20	0.12	126	0.78	-	-
千葉県	-	-	23	0.18	185	1.41	420	3.21	240	1.83	12	0.09	34	0.26	96	0.73	-	-
東京都	-	-	21	0.15	87	0.61	437	3.08	180	1.27	22	0.15	34	0.24	81	0.57	-	-
神奈川県	-	-	28	0.14	257	1.24	723	3.49	391	1.89	12	0.06	58	0.28	131	0.63	1	0.00
新潟県	8	0.08	10	0.17	98	1.63	468	7.80	249	4.15	3	0.05	28	0.47	32	0.53	-	-
富山県	-	-	5	0.17	90	3.10	219	7.55	135	4.66	5	0.17	11	0.38	20	0.69	-	-
石川県	-	-	7	0.24	63	2.17	121	4.17	50	1.72	1	0.03	-	-	18	0.62	-	-
福井県	-	-	22	1.00	40	1.82	140	6.36	61	2.77	10	0.45	7	0.32	12	0.55	-	-
山梨県	3	0.07	-	-	26	1.04	78	3.12	26	1.04	2	0.08	1	0.04	8	0.32	-	-
長野県	1	0.01	-	-	51	0.93	274	4.98	138	2.51	6	0.11	28	0.51	21	0.38	1	0.02
岐阜県	6	0.07	14	0.26	47	0.89	90	1.70	74	1.40	21	0.40	13	0.25	23	0.43	-	-
静岡県	1	0.01	7	0.08	75	0.87	343	3.99	204	2.37	13	0.15	39	0.45	54	0.63	-	-
愛知県	1	0.01	32	0.18	210	1.15	571	3.14	426	2.34	89	0.49	28	0.15	140	0.77	2	0.01
三重県	3	0.04	26	0.58	64	1.42	297	6.60	92	2.04	15	0.33	6	0.13	48	1.07	2	0.04
滋賀県	-	-	16	0.50	35	1.09	118	3.69	56	1.75	8	0.25	-	-	9	0.28	-	-
京都府	3	0.02	2	0.03	62	0.82	515	6.78	73	0.96	14	0.18	4	0.05	30	0.39	-	-
大阪府	7	0.02	32	0.16	172	0.88	655	3.36	221	1.13	117	0.60	20	0.10	104	0.53	2	0.01
兵庫県	5	0.03	29	0.23	60	0.47	715	5.59	223	1.74	18	0.14	24	0.19	104	0.81	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	19	0.54	128	3.66	45	1.29	3	0.09	2	0.06	24	0.69	-	-
和歌山県	-	-	4	0.13	11	0.35	121	3.90	45	1.45	1	0.03	5	0.16	14	0.45	1	0.03
鳥取県	11	0.38	4	0.21	41	2.16	204	10.74	57	3.00	1	0.05	10	0.53	22	1.16	-	-
島根県	4	0.11	20	0.87	9	0.39	90	3.91	39	1.70	3	0.13	-	-	15	0.65	-	-
岡山県	1	0.01	4	0.07	29	0.54	183	3.39	108	2.00	2	0.04	3	0.06	25	0.46	-	-
広島県	6	0.05	7	0.09	63	0.84	369	4.92	197	2.63	38	0.51	13	0.17	55	0.73	-	-
山口県	15	0.21	8	0.16	79	1.61	253	5.16	179	3.65	96	1.96	19	0.39	53	1.08	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	26	1.13	94	4.09	34	1.48	1	0.04	5	0.22	18	0.78	-	-
香川県	2	0.04	6	0.19	11	0.34	146	4.56	26	0.81	5	0.16	1	0.03	25	0.78	-	-
愛媛県	2	0.03	4	0.10	38	0.97	234	6.00	79	2.03	13	0.33	2	0.05	36	0.92	-	-
高知県	3	0.06	8	0.26	58	1.87	54	1.74	68	2.19	2	0.06	4	0.13	20	0.65	-	-
福岡県	6	0.03	66	0.55	144	1.20	515	4.29	444	3.70	100	0.83	8	0.07	100	0.83	1	0.01
佐賀県	1	0.03	2	0.09	41	1.78	52	2.26	68	2.96	30	1.30	1	0.04	25	1.09	-	-
長崎県	12	0.17	10	0.23	35	0.80	142	3.23	67	1.52	13	0.30	2	0.05	18	0.41	-	-
熊本県	12	0.15	11	0.22	58	1.18	191	3.90	102	2.08	4	0.08	6	0.12	41	0.84	-	-
大分県	3	0.05	47	1.31	23	0.64	276	7.67	82	2.28	11	0.31	5	0.14	34	0.94	-	-
宮崎県	3	0.05	9	0.25	89	2.47	331	9.19	140	3.89	83	2.31	5	0.14	56	1.56	-	-
鹿児島県	14	0.14	18	0.31	25	0.42	241	4.08	117	1.98	10	0.17	5	0.08	41	0.69	-	-
沖縄県	38	0.66	-	-	7	0.21	31	0.91	105	3.09	13	0.38	7	0.21	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年19週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	111	0.04	519	0.17	421	0.14	1701	0.56	25	0.04	577	0.91	1	0.00	4	0.01	12	0.03
北海道	6	0.04	2	0.01	14	0.10	93	0.64	1	0.03	20	0.69	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	3	0.07	3	0.07	49	1.17	2	0.18	2	0.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	14	0.37	7	0.18	49	1.29	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	6	0.10	5	0.08	24	0.41	54	0.92	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	23	0.66	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	11	0.37	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	3	0.06	43	0.90	34	0.71	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	1	0.01	9	0.12	27	0.36	-	-	41	2.56	-	-	-	-	-	-
栃木県	3	0.07	1	0.02	43	0.93	32	0.70	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	18	0.29	6	0.10	77	1.24	-	-	15	1.07	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	1	0.01	13	0.08	31	0.19	58	0.36	1	0.03	21	0.58	-	-	2	0.22	-	-
千葉県	5	0.04	7	0.05	39	0.30	52	0.40	-	-	37	1.12	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	11	0.08	13	0.09	30	0.21	1	0.07	15	1.07	-	-	-	-	-	-
神奈川県	16	0.08	11	0.05	26	0.13	65	0.31	1	0.02	47	1.12	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	9	0.15	5	0.08	42	0.70	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.03	3	0.10	2	0.07	6	0.21	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	6	0.21	1	0.03	9	0.31	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	11	0.50	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
山梨県	2	0.08	1	0.04	2	0.08	4	0.16	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	4	0.07	5	0.09	10	0.18	1	0.09	11	1.00	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	4	0.08	1	0.02	18	0.34	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	8	0.09	8	0.09	71	0.83	-	-	15	0.75	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	37	0.20	10	0.05	102	0.56	2	0.06	26	0.74	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	16	0.36	2	0.04	25	0.56	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	3	0.09	2	0.06	5	0.16	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	5	0.07	6	0.08	11	0.14	1	0.06	12	0.67	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	73	0.37	24	0.12	50	0.26	1	0.02	28	0.57	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	2	0.02	23	0.18	7	0.05	181	1.41	-	-	18	0.51	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	9	0.26	1	0.03	22	0.63	-	-	4	0.44	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	3	0.10	3	0.10	4	0.13	12	0.39	-	-	4	1.00	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	16	0.84	-	-	21	1.11	1	0.33	4	1.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.17	-	-	7	0.30	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	37	0.69	9	0.17	1	0.02	28	0.52	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
広島県	5	0.07	4	0.05	-	-	49	0.65	1	0.05	26	1.30	-	-	1	0.05	-	-
山口県	1	0.02	34	0.69	4	0.08	33	0.67	-	-	15	1.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	6	0.26	2	0.09	11	0.48	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	7	0.22	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.05	4	0.10	-	-	11	0.28	2	0.29	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	18	0.58	1	0.03	42	1.35	-	-	13	4.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	4	0.03	39	0.33	7	0.06	59	0.49	1	0.04	26	1.00	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	7	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	3	0.07	36	0.82	4	0.50	20	2.50	-	-	-	-	1	0.09
熊本県	-	-	41	0.84	3	0.06	14	0.29	-	-	21	2.33	-	-	-	-	-	-
大分県	1	0.03	15	0.42	6	0.17	33	0.92	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	14	0.39	12	0.33	29	0.81	-	-	3	0.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	2	0.03	42	0.71	82	1.39	-	-	6	1.00	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	4	0.12	2	0.06	2	0.06	9	0.26	2	0.20	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年19週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	95	0.20	4	0.01	27	0.06
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	9	0.45	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	-	-	-	-
秋田県	5	0.71	-	-	-	-
山形県	3	0.30	-	-	1	0.10
福島県	2	0.29	-	-	2	0.29
茨城県	1	0.10	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	-	-	5	0.50
埼玉県	1	0.11	1	0.11	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	3	0.25
新潟県	4	0.33	-	-	-	-
富山県	3	0.60	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	3	0.27	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.30	-	-	7	0.70
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	5	0.56	-	-	1	0.11
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	9	0.60	3	0.20	-	-
兵庫県	3	0.25	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	2	0.10	-	-	-	-
山口県	2	0.22	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.14
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	0.17
高知県	5	0.63	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	3	0.27	-	-	1	0.09
熊本県	5	0.33	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第19号 平成15年5月23日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。